

令和8年度 新入生保護者説明会 2/2

こんにちは。先日の就学時健診に続き、本日も御参会いただき、ありがとうございます。保護者の皆様も、お子さんたちも、入学に向けてワクワク・ソワソワし始めているところと存じます。私からは、本校の教育理念についてお話をさせていただきます。

本校では、子供たちを「**未来の守護者**」と捉えています。彼らこそが、私たちの未来を創造し、未来を守る存在である、という捉えです。未来の守護者を育てる学校教育は、極めて重大な責務を担っており、職員一同、深甚なる覚悟をもって臨んでおります。

そして本校では、未来の守護者を育てるために「**垣根のない学校**」を目指しています。垣根がないというのは、そのままの意味ですが、物理的な障壁や心理的な隔たりがないということです。

例えば、学校と家庭の垣根、教員と児童の垣根、学年や学級の垣根、通常の学級と特別支援学級の垣根、大人と子供の垣根、子供同士の垣根、あらゆる垣根をなくし、「**誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校**」、それが本校の目標です。

そのため、今年度から特に力を入れていることが、**学年担任制、教科担任制、交流及び共同学習**です。これらは、これからも本校の根幹をなす取り組みになっていきます。時間の都合で割愛させていただきますが、是非、本校ホームページをご覧ください。

最後にもう一つ、角度を変えて、お話をします。私の娘は、今高3で卒業時期を迎えています。子育てをする過程で「とくに優秀でなくてもいいので、普通に育ってくれば…、人並みでいいから…」という思いがありました。みなさんは、いかがでしょうか？

私は、この「**普通**」とか「**平均**」という考え方が、**子供を苦しめている元凶ではないか**と思うようになりました。

一見、普通というと、高望みせず、聞こえはいいような気がしますが、実は、「**普通**」というもっともらしい**大義名分を盾として“他人と比べている”**ということに気付きました。裏を返せば「どうしてあなたは普通に出来ないの？」となります。普通って何ですか？平均って何でしょう？学校でも、ご家庭でも、人と比べることなく、「**みんなちがって みんないい**」という考え方で、子供を見守ることが出来ればいいなと思います。御入学をお待ちしております。